

事務事業評価シート

評価対象年度 平成 20 年度

【事務事業の基本的事項】

事 務 事 業 名	樺細工振興費					
担 当 課 係 名	商 工 課		緊急雇用対策室 係		作成者	阿部慶太
総 合 計 画 で の 位 置 づ け	施策の大綱	特色ある資源を活かした産業創造のまち				総合計画の ページ
	基本計画	物産の開発と販売の促進				
	主要施策	樺細工の振興				69
予 算 費 目	一 般 会 計		7 款 商 工 費	1 項 商 工 費	4 目	桜振興費
事 業 期 間	平成 年度 ~ 平成 年度			新規 / 継続の区分		継続
性 質 区 分	☐ 市民サービス ☒ 公共事業 ☐ 施設維持管理 ☐ 補助金 ☐ 内部管理					
根 拠 法 令 等	なし					
事 務 区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務					
運 営 方 法	☒ 直 営 ☐ 直営（一部民間委託） ☐ 民間委託(全部) ☐ 補 助					

【事務事業の実施内容】

事業の対象 （誰のため・何を）	樺細工後継者育成支援
事業の目的・意図 （どういう状態にしたいのか）	樺細工後継者の育成、原材料の確保
事業の内容 （どのような業務、活動を行うのか）	樺細工需要の開拓及び、新製品開発等産地組合が行う事業を支援し、樺細工の振興と発展を図る。

【事務事業の推移】

	項 目			単位	18年度実績	19年度実績	20年度実績	
効果	活動指標	樺細工後継者育成資金 交付額	目標	千円	960	600	1,030	
			実績	千円	960	600	1,030	
			達成度	%	100.0%	100.0%	100.0%	
	成果指標	樺細工後継対象者	目標	人	1	1	2	
			実績	人	1	1	2	
			達成度	%	100.0%	100.0%	100.0%	
投下コスト	項 目		総事業費		18年度決算額(千円)	19年度決算額(千円)	20年度決算額(千円)	
	事業費（人件費を除く）(A)				2,021	2,038	1,810	
	人 件 費 (B)		—		785	807	793	
	職 員 数		—		0.10	0.10	0.10	
	職 員 平 均 人 件 費		—		7,853	8,071	7,925	
	(A) + (B) 投下コスト				2,806	2,845	2,603	
	財源内訳	国 庫 支 出 金						
		県 支 出 金						
		地 方 債						
		そ の 他						
		一 般 財 源				2,806	2,845	2,603
	単位コスト	活動指標1単位当たりコスト(円)		—		2,923	4,742	2,527
		市民1人当たりのコスト(円)		—		88	90	84

【事務事業の今までの成果】

角館町の伝統的工芸として樺細工を守り、発展させるため、平成３年度より行っており、現在まで４人が研修を終了している。
また、良質な桜皮を得るため、現在萌芽更新中である。

【事務事業を取巻く環境】

国・県・他自治体の動向	各自自体とも、地域伝統工芸品の販路拡大に努めている。
事業に対する市民の意見 (事業に対する期待、要望、苦情等)	国の伝統的工芸品であり、後継者及び技術の継承が課題となっている。 また、樺細工桜皮の安定確保のため、良質山桜の保育を希望している。

【一次評価】

判 定	事 業 の 方 向 性	判 定 に 至 っ た 理 由
A	A 現状のまま継続（実施）	国の伝統工芸品であり、仙北市独自の特産品でもある樺細工の振興を図る必要がありA判定とした。
	B 1 見直しの上で継続（拡大）	
	B 2 見直しの上で継続（手段改善等）	
	B 3 見直しの上で継続（縮小）	
	C 1 大幅な見直しの上で継続（拡大）	
	C 2 大幅な見直しの上で継続（手段改善等）	
	C 3 大幅な見直しの上で継続（縮小）	
	D 休止・廃止（統合を含む）を検討する事業	
	E 終了（完成及び目的を達成し終了した事業）	

一次評価の判定がB～Dのときは、下記に必ず記入すること。

【具体的な今後の取組内容（改善の方向性、対象、意図、手段等について記載すること。）

【二次評価】

判 定	判 定 に 至 っ た 理 由
A	後継者の育成・原材料の確保いずれも樺細工振興のために必要な支援策であり、今後も引き続き必要な事業であると考えます。

